

川崎市入札契約制度 アンケート集計結果（概要版）

1 アンケートの目的

入札契約制度の見直しを検討する中で、市内工事請負業者の意見を幅広く聴取し参考とするために実施しました（毎年実施）。

2 アンケートの実施方法

競争入札参加資格を有する市内建設事業者に電子メールにより、アンケート送付・回収を行いました。

3 調査項目

入札不調対策、総合評価入札についてなど6項目

4 回収状況

○送付日 令和元年7月9日 ○回答期限 令和元年7月26日
○回答数 102社（約16.4%の事業者から回答）

5 アンケート集計結果 概要（次ページ以降は、主な質問項目の集計結果を記載）

【電子入札の稼働時間について 質問1関係】

現行の稼働時間で「特に支障はない」と「まれに支障があるが問題ない」で91.2%の結果になりました。寄せられた要望としては、現状の稼働時間で問題がないとの意見がほとんどでしたが、少数意見として、現場に出ている時間との関係で朝7時から夜10時くらいまでに延ばしてほしい旨の意見が寄せられました。

【等級区分設定業種における発注標準金額について 質問2関係】

平成29年4月1日からの等級区分や設定業種について、御意見を伺いました。意見は業種によって様々で、現状で問題ないという業種や、見直しを求める業種もありました。

【主観評価項目制度の活用について 質問3関係】

平成31年4月1日から評価項目の見直しを行い、現行の評価項目について、御意見を伺いました。「災害協定」と「防災協力事業所」についての加点方法や入札参加条件の点数設定について、見直しを要望する意見等がありました。

【入札参加について 質問4関係】

工事の入札にあたり取り入れてほしい制度について、「現場代理人の常駐緩和を拡大した工事」について61%の方が希望し、「週休2日制を指定した工事」「現場着手日を指定する余裕期間制度を導入した工事」「現場環境改善（熱中症対策、快適トイレなど）の取り組みを重視した工事」についてやく35%の方が希望する結果になりました。

【補助金交付事業に係る市内中小企業者への優先発注について 質問5関係】

賛成意見が大半を占める結果になりました。「横浜市では市内のみで川崎市の業者が参入できないが、制度がない現状では、横浜市の業者は川崎市の工事に参入できる状況は不公平である」旨の意見も寄せられました。

【その他 質問6関係】

落札が集中する業者や業者の受注限度を超えた入札参加に対しての意見が寄せられました。総合評価方式の評価方法、くじの方法、所在地の制約、最低制限価格の取り扱い、業種・ランクと業者の格付けによっておこる過当競争等の意見が寄せられました。

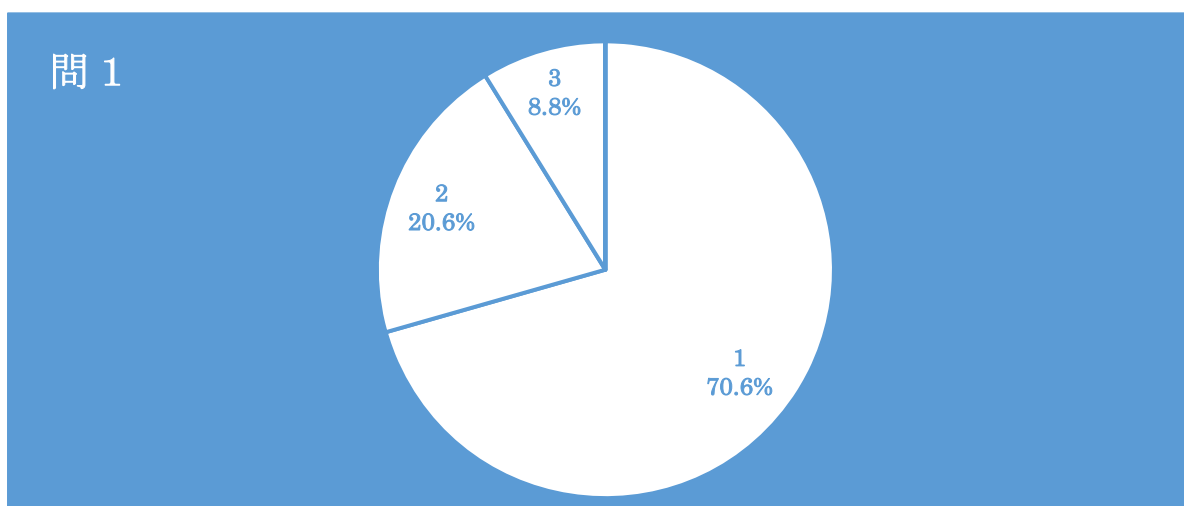
※次ページ以降に記載する「n」は、回答数を示しています。

【電子入札システムの稼働時間】

1 本市の電子入札システムについて、現在の稼働時間（午前8時から午後8時まで）に対して感じていることについて

1	現行の稼働時間で入札参加申込・札入れ等の入札手続きを行うにあたり、特に支障はない。	72	(70.6%)
2	現行の稼働時間で入札参加申込・札入れ等の入札手続きを行うにあたり、まれに支障はあるが問題ない。	21	(20.6%)
3	現行の稼働時間で入札参加申込・札入れ等の入札手続きを行うにあたり、支障をきたすことが多い。	9	(8.8%)

n=102



寄せられた意見	<p>自由意見として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状で問題ない。（1件） ・朝6時から開始してほしい。（1件） ・朝7時から開始してほしい。（4件） ・終了時間を22時までにしてほしい。（5件） ・24時間稼働してほしい。（3件） <p>の意見等がありました。</p>
---------	---

【等級区分設定業種における発注標準金額について】

2 等級区分や設定業種について

寄せられた意見	自由意見として、 <ul style="list-style-type: none">・ 現行のままでよい。・ ランクについて偏りを感じる。・ 入札参加者数が10社程度、多くても20者程度までになるように制限してほしい。・ 水道施設のAランクの業者多すぎるので、ランクの見直しをしてほしい。・ 舗装工事のAランクが少なすぎる。 の意見等がありました。
---------	---

【主観評価項目制度の活用について】

3 主観評価項目制度について

寄せられた意見	自由意見として、 <ul style="list-style-type: none">・ 「災害時における本市との協力体制について」、防災出動を伴う「災害協定」とそうでない「防災協力事業所」が同じ点数なのはおかしい。・ 「災害時における本市との協力体制」について、協定締結団体に「複数」所属している業者や、災害時に実際に出動した業者、川崎市総合防災訓練や各区における防災訓練等に参加した業者等に対して、「累積加点方式」による加点を採用してほしい。・ 「災害時における本市との協力体制（災害協定）」について、複数の協定を締結している事業所であっても、該当する業種についてのみ加点対象とするべき。・ 災害協定は、川崎市建設業協会等に参加している場合に加点してほしい。・ 災害協定は、川崎市建設業協会等に参加していなくても地域の防災イベントや、区役所と独自に災害時の緊急体制表を提出して活動している業者等に加点してほしい。・ 評価項目が増加したにも関わらず、工事の参加条件の必要な点数は変わらないため、項目が増加した意味が薄い。点数を上げるべき。また、点数不問はなくしてほしい。・ 男女参画や、優良企業表彰、障害者雇用などの点数を、もっと増やしてほしい。 の意見等がありました。
---------	--

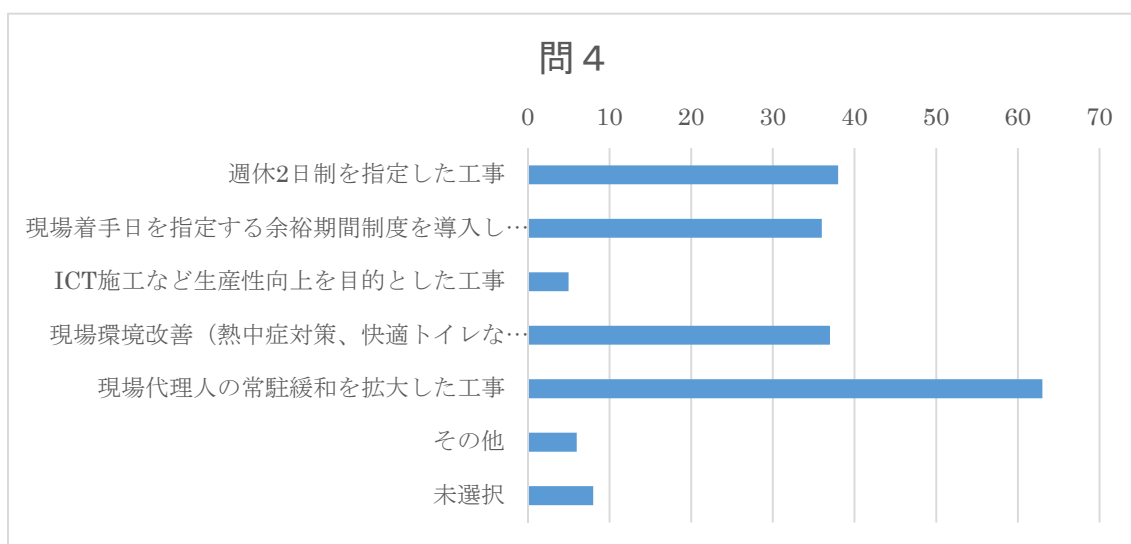
【入札参加について】

4 今後、工事の入札に取り入れてほしい制度について

※複数回答可

1	週休2日制を指定した工事	38
2	現場着手日を指定する余裕期間制度を導入した工事	36
3	ICT 施工など生産性向上を目的とした工事	5
4	現場環境改善(熱中症対策、快適トイレなど)の取り組みを重視した工事	37
5	現場代理人の常駐緩和を拡大した工事	63
6	その他	6
	未選択(無回答)	8

n=102



寄せられた意見	<p>【週休2日制を指定した工事】の回答者の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> • 工事を土日休みするだけでなく、その分の工期延長と経費も含んだ工事の入札が良いと思います。 • 1 週休 2 日制を指定した工事、4 現場環境改善など人員確保のためにも必要だが経費を上げるなど出来高が少なくても現行と変わらないようにしないと現実的でない。 <p>【現場着手日を指定する余裕期間制度を導入した工事】の回答者の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「余裕期間制度」については、積極的に採用してほしい。 • 着手遅れになることが分かっていた工事がある場合はあらかじめ発注の時点で余裕期間をもたせた着手日を設定してほしい。
---------	---

	<p>【現場環境改善（熱中症対策、快適トイレなど）の取り組みを重視した工事】の回答者の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場でのハウス及び休憩室（冷房がきいている）や快適トイレ、熱中症対策としてのグッズを現場管理費以外に積算内訳書に項目としてのせて、現場環境改善費としての項目で予算にいれてほしい。 <p>【現場代理人の常駐緩和を拡大した工事】の回答者の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場代理人の常駐緩和は早急の課題。人的不足が急速に訪れているのに今の緩和措置では、ほぼ複数件は兼務できないのが現状。主任技術者は国、県レベルと同等の扱いで兼務できるが、代理人だけは発注者によって異なる。 ・神奈川県発注工事と同様に、監督部署が同一でなくても、「同業種」ないし「資格要件が同一」の工事で、一定の範囲内の工事であれば、主任技術者や現場代理人が兼務できるよう、更なる緩和をしてほしい。 <p>【その他】の回答者の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンピング受注について指導してほしい。 ・樹木管理の業務委託や公園工事の入札に、実際に造園の現場で生きる資格（造園技能士、街路樹剪定士）を持った職員が在籍していることを参加資格として、取り入れてほしい。 ・従業員及び職人が不足している。 ・メーカー機器、使用材料の納期が非常に長く、工程が組めず苦慮している。の意見等がありました。
--	--

【補助金交付事業に係る市内中小企業者への優先発注について】

5 市内中小企業者への優先発注について、本市が直接発注するものだけでなく、補助金交付対象者に対しても導入することの検討について

寄せられた意見	<p>自由意見として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付対象者に対しても、市内中小企業者への優先発注をお願いしたい。 ・川崎市の業者は、横浜市の補助金事業から排除されるが、川崎市においては、横浜市の業者が参入できるので不公平。 ・すべての補助金交付事業が、市内中小企業者への優先発注に適しているとは思えないので、個々の案件ごとの検討を前提として導入しては。 ・優先発注に関してよく理解をしていません。の意見等がありました。
---------	--

【その他】

6 その他（川崎市の工事請負の入札契約制度についての意見）

寄せられた意見	<p>【落札の集中や他社施行関連】の意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・落札が偏っているので受注の上限を決めてほしい。・下請けや孫請けへ仕事の多くを流している業者と完全自社スタッフで業務をしている業者の差別化をしてほしい。 <p>【総合評価関連】の意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・入札制度を国土交通省が推奨する、総合評価落札方式を採用してほしい。・総合評価案件で点数について1点の差が工事価格の1%にも満たないことを改善してほしい。・総合評価方式の評価点で企業の地域貢献度の中に本社の所在地について、案件がほとんど川崎区に集中している点を改善してほしい。 <p>【くじ関連】の意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・30社以上同額でくじになるような運のみで左右される入札案件について改善してほしい。 <p>【地域関連】の意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・所在地制約がある案件を増加してほしい。 <p>【最低制限価格関連】の意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・土木関係の落札の大部分が最低制限価格となっている点を改善してほしい。 <p>【ランク付け関連】の意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・ランクによって発注案件が少なすぎる案件や格付けされている業者数が極端に多い案件について、改善してほしい。 <p>【塗装関連】の意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・業種が塗装の案件について、総合建設業者や土木業者との混合入札にならないように対応してほしい。 <p>【その他】の意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・現状、設計書における工期設定が不透明で、明記してほしい。・低入札価格での受注企業の入札参加の制限してほしい。・入札参加業種が6業種となっていますが、もう少し参加業種を増やして欲しい。・受注機会確保方式の案件を拡大してほしい。専門工事業者育成型入札の実施拡大をしてほしい。
---------	--